

## 1 利上げを意識しつつも、堅調に推移する米国リート市場

- 米国リート市場は、1月に最高値を更新する展開となりましたが、3月6日発表の米雇用統計が市場予想を大幅に上回る結果となり、米国10年債利回りが上昇したことが嫌気され、下落しました。
- 過去の金利上昇局面においては一時的な調整は見られたものの、世界的に長期金利の低下傾向が続いていることなどを背景に、リーマンショック以降、米国リート市場は堅調に推移してきました。
- 米国の不動産市場は、足元で住宅価格や中古住宅販売が堅調な推移となるなど、回復傾向が続いており、こうした好調なファンダメンタルズを背景に米国リート市場は今後も堅調な推移が期待できます。

### 米国リート市場の最近の動向

#### ● 1月、米国リートは最高値を更新

2014年に米国株式のリターンを大きく上回った米国リートは、2015年1月には過去最高値を更新する展開となりました。引き続き、良好な米国不動産市場のファンダメンタルズに加え、原油価格の下落などを背景とした米国10年債利回りの大幅低下が、米国リーートの一段高を後押ししました。

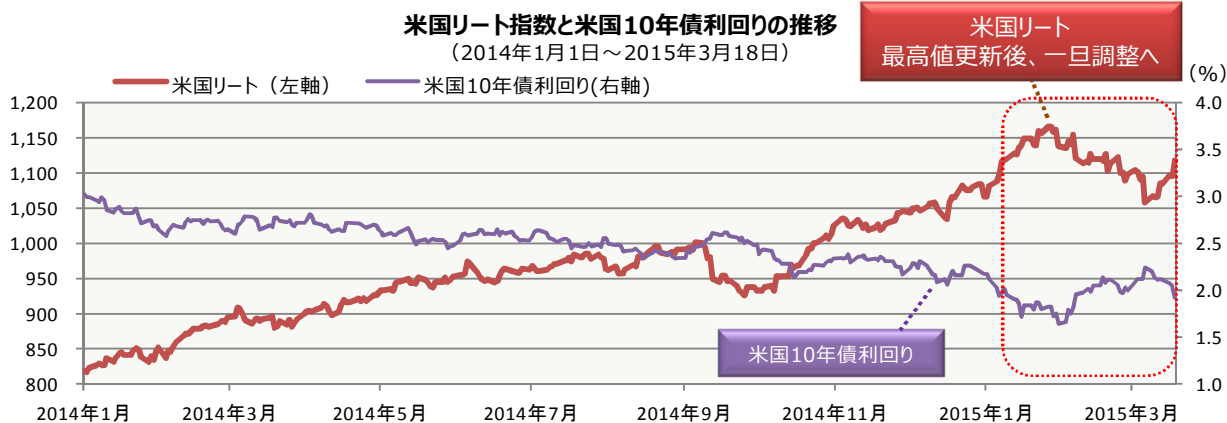
#### ● 金利上昇懸念の強まりで米国リート市場は一旦調整

2015年3月6日、米国金融市場では雇用統計において市場予想を大幅に上回る雇用者数の増加（非農業部門雇用者数が29.5万人増）と失業率が5.5%へ低下したとの発表がありました。

この発表により、米国の利上げが視野に入ってきたとの見方から米国債が売られ、米国10年債利回りが2%を上回る水準まで上昇したことで利回り差縮小などが嫌気され、株式市場やリート市場が下落しました。

米国雇用統計の結果

経済指標	実績	予想
2月非農業部門雇用者数 (前月比)	+29.5 万人	+23.5 万人
2月の失業率	5.5%	5.6%



※米国リート:S&P米国REIT指数  
(出所) ブルームバーグのデータに基づき、SBIアセットマネジメントが作成。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

## 最近の米国リートとブラジルレアルの動向

2015年3月20日

## 米国リーートの今後の見通し

## ポイント

- ①過去の金利上昇局面での影響は一時的、その後 米国リート市場は堅調に推移
- ②回復傾向が続く米国の不動産市場

## ①過去の金利上昇局面での影響は一時的、その後 米国リート市場は堅調に推移

米国リート市場は、過去の米国の金利上昇局面においても一時的な調整局面が見られました。しかし、米国の景気回復に伴う賃料上昇や物件稼働率の上昇などを受けて、米国リート市場は中長期的には上昇に転じており、米国株式を上回る水準で堅調に推移しました。

米国リート、米国株式、米国10年債利回りの推移  
(2003年1月1日～2015年3月18日)



※米国リート:S&P米国REIT指数、米国株式:S&P500種指数  
 ※米国リート、米国株式は2003年1月1日を100として指数化。  
 (出所) ブルームバーグのデータに基づき、SBIアセットマネジメントが作成。

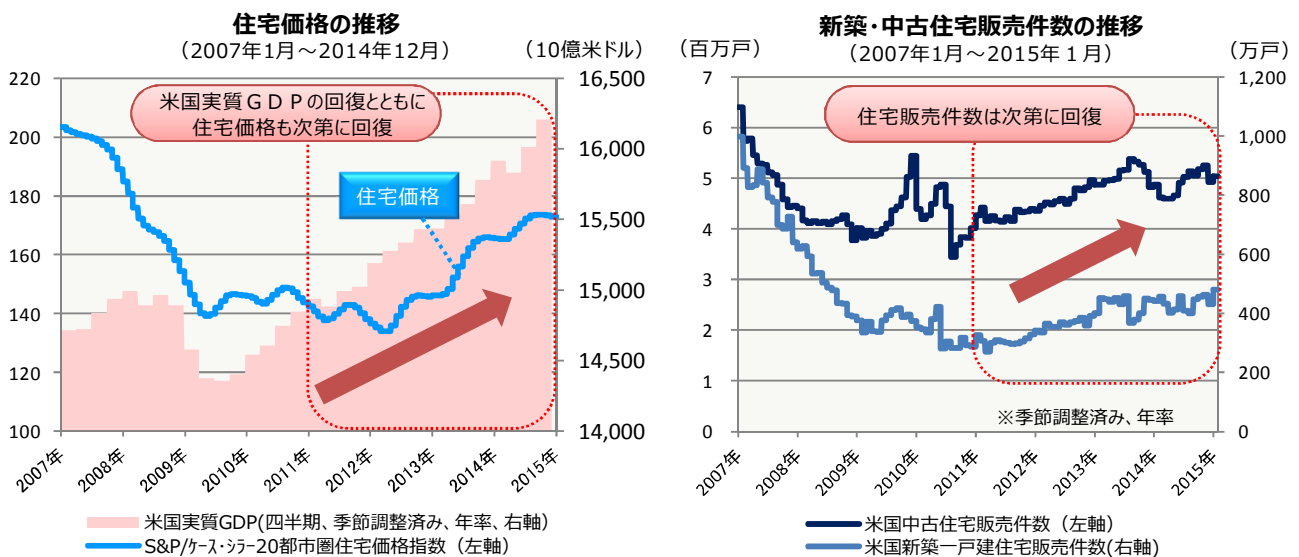


○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

## ②回復傾向が続く米国の不動産市場

リーマンショック以降、米国の住宅価格は大きく下落、新築・中古住宅販売件数は大きく減少しましたが、足元で住宅価格や新築・中古住宅販売が堅調な推移となるなど、回復傾向が続いています。

不動産市場の回復は、それに伴う住宅価格の上昇とともに不動産売買の活性化を後押しし、住宅に関する雇用や生産の増加などを通じて、米国経済の回復を後押しするものと考えられます。



(出所) 住宅価格の推移、新築・中古住宅販売件数の推移ともにブルームバーグのデータに基づき、SBIアセットマネジメントが作成。

### まとめ

- 今後の米国リート市場は、利上げの前後には調整局面の可能性がありますが、景気回復に支えられ、利上げ後はやがて上昇に転じ、その後中期的には堅調に推移していくと考えられます。
- 足元では個人消費の伸びの加速や雇用者数が増加しており、米国経済は今後も個人消費中心に拡大基調が継続すると予想されます。こうした米国の景気回復や不動産市場の好調なファンダメンタルズを背景に米国リート市場は今後も堅調な推移が期待できるでしょう。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

## 最近の米国リートとブラジルレアルの動向

2015年3月20日

## 2 ブラジルレアルの下落と今後の見通し

- ブラジルレアルは足元、対米ドルで約12年ぶりの安値水準まで下落しています。
- この下落要因としては、大手石油会社である国営石油会社ペトロブラスの汚職問題やブラジルの景気減速および財政状況悪化に対する警戒感等などが挙げられます。
- 当面ブラジルレアルは不安定な動きが続く可能性があります。しかしブラジルが抱えている様々な問題が払しょくされていけば、世界的にみても高金利通貨であるブラジルレアルへの資金流入は再び期待できるでしょう。

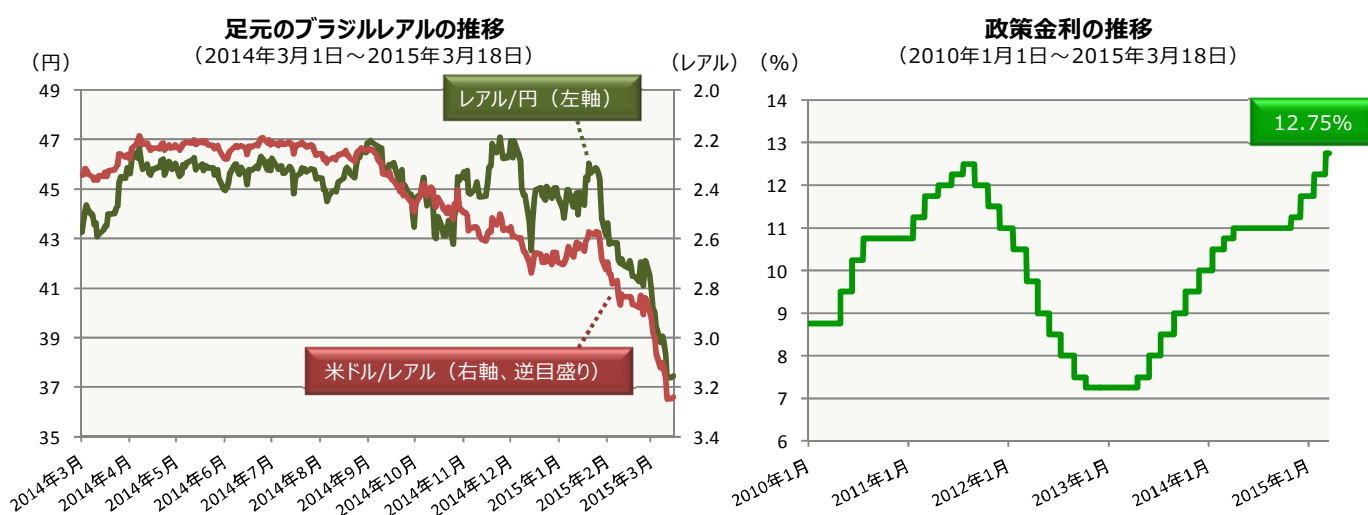
## ブラジルレアルの最近の動向

● **ブラジルレアルは約12年ぶりの安値水準まで下落**

足元でブラジルレアルの下落が加速しており、ブラジルレアルは、対米ドルで約12年ぶりの安値水準まで下落しています。2015年3月5日にブラジル中央銀行が昨年10月以降で4会合連続となる政策金利の引き上げを行いました。ブラジルレアルの下落に歯止めがかかっていません。

● **ブラジルレアルの下落要因**

大手石油会社である国営石油会社ペトロブラスの汚職問題で国会の上下両院議長などが捜査対象となり、政局が混乱し、政府の財政健全化策のための法案の成立が懸念されたことや、ブラジル当局のレアル買い介入姿勢が後退するとの思惑を受けて、ブラジルレアルは大きく下落しました。また、足元のブラジル経済の停滞感や財政悪化懸念等を受け、市場でブラジル国債の格付けが引き下げられるのではないかとの見方が強まっていることも、ブラジルレアルの下落要因となっています。



(出所) 足元のブラジルレアルの推移、政策金利の推移ともにブルームバーグのデータに基づき、SBIアセットマネジメントが作成。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

# 最近の米国リートとブラジルレアルの動向

2015年3月20日

## ブラジルレアルの注目ポイント

### ①過去、ブラジルレアルは一時的に大きく下落したもののその後は回復基調へ

現時点でブラジルレアルは対米ドルで2003年前半と同水準まで下落し、割安な水準となっています。2002年から2003年にかけてのブラジルレアルの下落要因としては、1999年1月に変動相場制に移行したことで通貨安が進行したほか、今回と同様に財政不安が高まった点が挙げられます。しかし、2002年末以降、大統領選挙の結果や財政健全化の推進などが奏功して資金流入が続きました。

### ②政府の財政健全化や3月末に期限を迎える為替介入プログラムの動向に注目

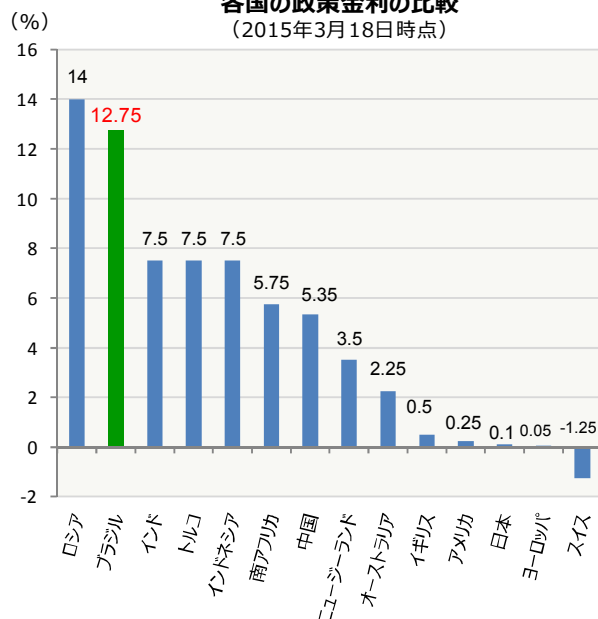
当面は財政健全化に向けた政府の動向や3月末に期限を迎える為替介入プログラム（レアル買いの為替介入）を延長するかどうか市場の注目が集まると考えられます。

### ③世界的に低金利化傾向が続く中、高い水準を維持するブラジルレアル

ブラジルの政策金利は、12.75%と高い水準にあり、主要先進国や新興国と比較して高い水準を維持しています。

今回の急速なレアルの調整は政治面の問題が絡んでいるため短期的には神経質な展開が続くことが予想されます。しかし、財政健全化へ向けた状況が改善し、投資家のリスク許容度が回復した後は、ブラジルレアルの割安感と金利面が注目され、中長期的な資金流入の拡大が期待できます。

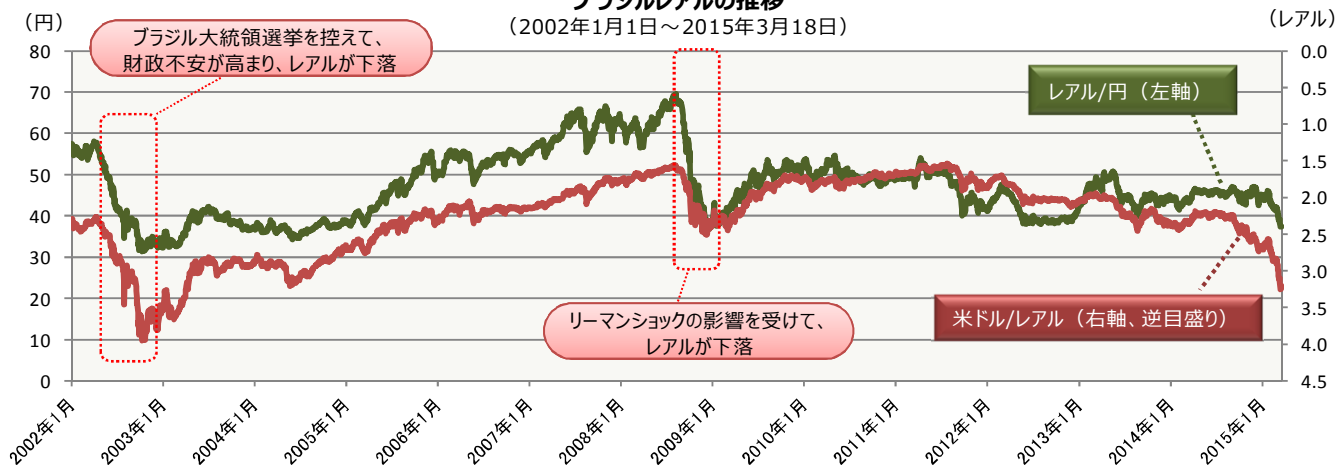
各国の政策金利の比較  
(2015年3月18日時点)



(出所) ブルームバーグのデータに基づき、SBIアセットマネジメントが作成。

### ブラジルレアルの推移

(2002年1月1日～2015年3月18日)



(出所) ブルームバーグのデータに基づき、SBIアセットマネジメントが作成。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

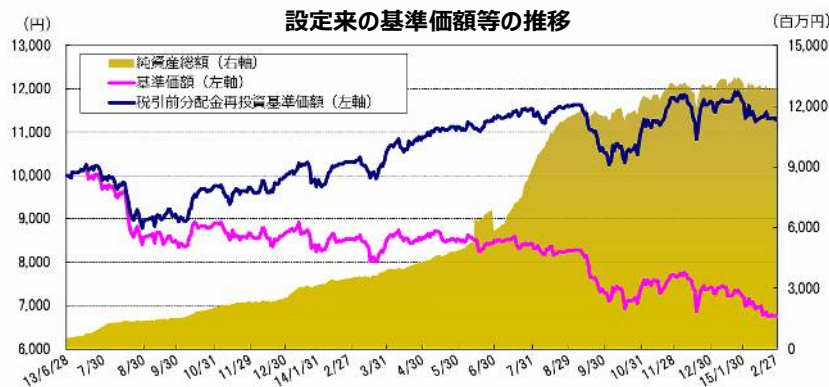
# 最近の米国リートとブラジルレアルの動向

2015年3月20日

## グローバル・リート・トリプル・プレミアム・ファンド（毎月分配型）

### 米国リート市場の恩恵を捉える

グローバル・リート・トリプル・プレミアム・ファンド（毎月分配型）が投資するグローバル・リートの約75%は米国リート市場が占めています。米国不動産市場の好調なファンダメンタルズを背景に、本ファンドは引き続き、毎月210円という分配金を継続しながら、基準価額の回復が見込まれます。



※期間：設定日(2013年6月28日)～2015年2月27日  
 ※基準価額及び税引前分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後の値です。

### 分配金について

当ファンドの分配方針に基づき、基準価額の水準や市況動向等を考慮した結果、以下の通りといたしました。

#### ●収益分配金実績（税引前）

決算期	第1期～第21期 2013年7月～2015年3月	直近1年累計	設定来累計
分配金	<b>各期210円</b>	2,520円	4,410円

※収益分配金は1万円あたり円単位です。原則として、毎月17日（休業日の場合は翌営業日）に収益分配方針に基づき分配を行います。  
 ※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆、保証するものではありません。

#### ●分配原資の内訳

(単位：円・%、1万円当たり・税込み)

項目	第13期	第14期	第15期	第16期	第17期	第18期	第19期	第20期	第21期
当期分配金	210	210	210	210	210	210	210	210	210
(対基準価額比率)	2.438	2.507	2.664	2.937	2.797	2.960	2.825	3.001	3.434
当期の収益	194	191	210	210	210	210	210	210	210
当期の収益以外	15	18	-	-	-	-	-	-	-
翌期繰越分配対象額	553	549	607	670	741	812	876	937	1,026

※対基準価額比率は、当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。  
 ※当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金(税込み)と一致しない場合があります。

○クレディスイスグループ提供のデータ・コメントに基づき、SBIアセットマネジメント株式会社が作成。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

# 最近の米国リートとブラジルレアルの動向

2015年3月20日

## グローバル・リート・トリプル・プレミアム・ファンド（毎月分配型）

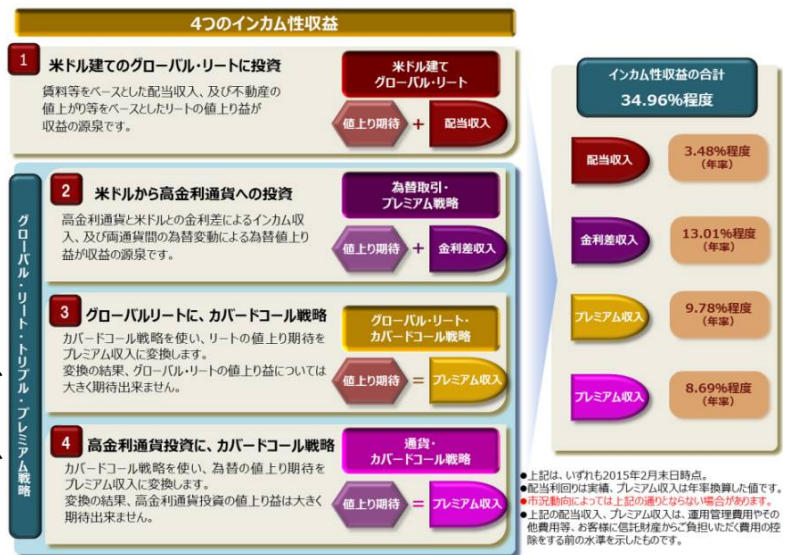
### 税込みで毎月210円の分配金を実現！4つのインカム収入とは？

本ファンドには、4つのインカム性収益の柱があります。この4つの収益源泉により、安定的かつ高分配を目指します。

1番目は米ドル建てのグローバル・リートへの投資です。2番目は米ドルから高金利通貨への投資です。3番目と4番目は1番目のグローバル・リート投資、2番目の高金利通貨投資の、それぞれに対するカバードコール戦略です。

以上の4つの投資戦略によるインカム性収益のイメージが右の図です。2015年2月末基準では、合計34.96%程度のインカム性収益となります。

このような戦略をとることで本ファンドは設定以来、税込みで毎月210円という高い水準の分配金のお支払いを実現してまいりました。

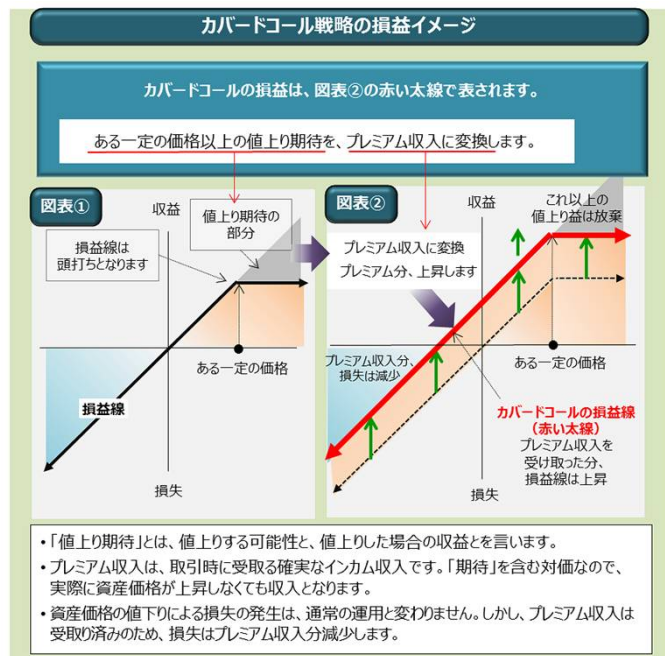


### カバードコール戦略とは？

「カバードコール戦略」とは、ある特定の資産の一定以上の値上がり益を放棄する対価として、プレミアム収入の獲得を目指す戦略です。

「ある一定の価格」以上となった場合に享受できる利益、グレーとなっている部分、この部分の値上り期待を事前に放棄します。これ以上の値上り益は享受出来ないため、損益線は、一定価格で折れ曲がり収益レベルは一定となります。利益期待を放棄したので、その対価として分配金のインカム収入の源泉となるプレミアムを受取ることが出来ます。プレミアムの受取りにより、損益線は、全般的に上昇します。

図表②の緑の上への矢印がプレミアムによる上昇分です。この結果、赤い太線が、カバードコールの損益線となります。通常の運用に比べて、損益線はプレミアム収入分、上昇します。しかし、一定の価格以上で折れ曲がり、その価格以上の値上り益は期待出来ません。



※この例示は、原資産の変動とカバードコール戦略の損益関係をご理解頂くためのイメージであり、実際の運用における全ての事象を表したものではありません。また、上記のような投資成果をお約束するものではありません。

○クレディスイスグループ提供のデータ・コメントに基づき、SBIアセットマネジメント株式会社が作成。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

## 最近の米国リートとブラジルレアルの動向

2015年3月20日

## ご留意事項

## 基準価額の変動要因

本ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。また、外貨建資産には為替リスクもあります。したがって、投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割込むことがあります。信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。本ファンドの基準価額の主な変動要因としては以下のものがあります。なお、基準価額の変動要因は以下に限定されるものではありません。

## 主な変動要因

## ●価格変動リスク

本ファンドは、主要投資対象とする外国投資信託証券におけるスワップ取引等を通じて、実質的にETF等値動きのある有価証券等に投資をします。実質的な投資対象となるETFの価格は、組入れリート発行企業の業績や市場での需給等の影響を受け変動します。また、発行企業の信用状況にも影響され、当該企業が経営不安や倒産等に陥ったときには、当該企業の株価は大きく下落し、投資資金が回収出来なくなることもあります。この場合、本ファンドの基準価額は影響を受け、大きく損失を被ることがあります。

## ●カバードコール戦略に伴うリスク

本ファンドが主要投資対象とする外国投資信託証券が採用するカバードコール戦略では以下のリスクがあります。

- ・グローバル・リートETFへの投資とそれぞれのETFを参照するコール・オプションの売りを組み合わせるグローバル・リート・カバードコール戦略では、各リートETFの価格が上昇した場合でも、それぞれのコール・オプションの権利行使価格以上の値上り益は放棄することになります。その場合、オプション・プレミアムは受取ることができるものの、グローバル・リートETFに投資した場合に比べ投資成果が劣る可能性があります。
- ・選択通貨への投資と円に対する選択通貨のコール・オプションの売りを組み合わせる通貨・カバードコール戦略では、選択通貨が円に対して上昇した場合でも、コール・オプションの権利行使価格以上の値上り益は放棄することになります。その場合、オプション・プレミアムは受取ることができるものの、選択通貨に投資した場合に比べ投資成果が劣る可能性があります。
- ・コール・オプションの売りを行うことにより得られるオプション・プレミアムの水準は、当該売りをを行う時点の価格水準や権利行使水準、価格変動率（ボラティリティ）、権利行使価格までの期間、金利水準、配当（分配）水準、需給等複数の要因により決まりますので、当初想定したようなオプション・プレミアムの水準が確保できない可能性があります。
- ・売却したコール・オプションの評価値は、売却後に価格水準やボラティリティが上昇した場合等には上昇し、これにより損失を被り、ファンドの基準価額が下落することがあります。
- ・各カバードコール戦略の投資成果は、オプション取引の権利行使日の価格によって決定されるものであり、権利行使価格までの間に価格が権利行使価格を超えたととしても、その後下落すれば権利行使価格までの値上り益を享受できない場合があります。
- ・各カバードコール戦略において、特定の権利行使期間で価格が下落した場合、再度カバード・コール戦略を構築した場合の値上り益は、戦略再構築日に設定される権利行使価格までの値上り益に限定されますので、その後当初の水準まで価格が回復しても、本ファンドの基準価額の回復は緩慢になる可能性があります。

## ●スワップ取引に関するリスク

- ・本ファンドが主要投資対象とする外国投資信託証券におけるスワップ取引は、ファンドの資産の全額を証拠金として相手方に差し入れ、グローバル・リートETFと為替取引のプレミアム戦略の投資成果を享受する契約ですので、スワップ取引の相手方の信用リスク等の影響を受け、その倒産等により、当初の契約どおりの取引を実行できず損失を被るリスクがあります。
- ・投資対象とする外国投資信託証券は、スワップ取引の相手方が現実に取引するグローバル・リートETFやオプション取引については何らの権利も有しておりません。
- ・投資対象とする外国投資信託証券では、スワップ取引の相手方から日々当該外国投資信託証券の純資産相当額の担保を受取ることでスワップ取引の相手方の信用リスクの低減を図りますが、スワップ取引の相手方に倒産や契約不履行、その他不測の事態が生じた場合には、運用の継続は困難となり、将来の投資成果を享受することは出来ず、担保を処分する際に想定した価格で処分できない可能性があることから損失を被る場合があります。

## ●為替リスク

本ファンドは、主要投資対象とする外国投資信託証券におけるスワップ取引等を通じて、実質的に外貨建て資産に投資するため、為替変動のリスクが生じます。また、本ファンドは原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を直接受けます。従って、円高局面では、その資産価値が大きく減少する可能性があり、この場合、ファンドの基準価額が下落する恐れがあります。また、為替取引・プレミアム戦略において、選択通貨金利が米ドル金利より低いときには、これらの金利差相当分がコストとなります。なお、直物為替先渡取引（NDF）を利用し為替取引を行う場合があります。NDFの取引価格は、需給や対象通貨に対する期待等により、金利差から理論上期待される水準とは大きく異なる場合があります。この場合、ファンドの基準価額の値動きは、実際の当該選択通貨の為替市場の値動きから想定されるものと大きく乖離する場合があります。

## ●カントリーリスク

実質的な投資対象となる国と地域によっては、政治・経済情勢が不安定になったり、証券取引・外国為替取引等に関する規制や税制が変更されたり、新たな税制が適用される場合があります。さらに、外国政府の資産の没収、国有化、差し押さえなどを行う可能性もあります。これらの場合、ファンドの基準価額が下落する恐れがあります。

## ●流動性リスク

実質的な投資対象となる有価証券等の需給、市場に対する相場見通し、経済・金融情勢等の変化や、当該有価証券等が売買される市場の規模や厚み、市場参加者の差異等は、当該有価証券等の流動性に大きく影響します。当該有価証券等の流動性が低下した場合、売買が実行できなくなったり、不利な条件での売買を強いられることになったり、デリバティブ等の決済の場合に反対売買が困難になったりする可能性があります。

※リスクは上記に限定されるものではありません。

## ●その他の留意点

- ・本ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ・投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- ・銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。
- ・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間における本ファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。
- ・投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- ・収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

## ●リスクの管理体制

委託会社では、ファンドのパフォーマンスの分析及び運用リスクの管理をリスク管理関連の各種委員会を設けて行っています。なお、デリバティブ取引については、社内規則に基づいて投資方針に則った運用が行われているかを日々モニタリングしています。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様へ帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目録見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。



# 最近の米国リートとブラジルレアルの動向

2015年3月20日

お申込みメモ	
購入単位	販売会社がそれぞれ定める単位とします。詳しくは販売会社にお問合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。詳しくは販売会社にお問合わせください。
換金単位	販売会社がそれぞれ定める単位とします。詳しくは販売会社にお問合わせください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した金額とします。
換金代金	換金申込受付日から起算して6営業日目以降のお支払いとなります。
購入・換金申込受付不可日	日本、ニューヨークの証券取引所及び銀行の休業日。
申込締切時間	原則として午後3時までとします。なお、受付時間を過ぎてからのお申込みは翌営業日の受付分として取扱います。※受付時間は販売会社によって異なることもありますのでご注意ください。
購入の申込期間	平成26年9月18日（木）～平成27年9月17日（木）※申込期間は、上記期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口解約には制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	購入・換金申込金額が多額であると判断した場合、主要投資対象となる投資信託証券の申込み・解約、換金の停止および基準価額算出の中止、金融商品取引所等における取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金（解約）の申込の受付を中止することおよび既に受付けた購入・換金（解約）の申込の受付を取消す場合があります。
信託期間	平成30年6月18日（月）（設定日：平成25年6月28日）信託期間の延長が有利であると認めるときは、信託期間を延長する場合があります。
繰上償還	主要投資対象とする外国投資信託証券が償還となる場合、受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には繰上償還となる場合があります。
決算日	毎月17日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	毎月決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配金は決算日から起算して5営業日以内に支払いを開始します。※販売会社によっては、分配金の再投資コースを設けています。詳しくは販売会社までお問い合わせください。
公告	委託会社が投資者に対して行う公告は、日刊工業新聞に掲載されます。
運用報告書	毎年6月、12月の決算時及び償還時に交付運用報告書を作成し、あらかじめ申し出いただいたご住所に販売会社よりお届けします。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。※税法が改正された場合には、変更となる場合があります。

## ファンドの費用

### 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入申込金額に3.24%（税込）を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た金額とします。
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に対して0.5%を乗じて得た額を、ご換金（解約）時にご負担いただきます。

### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）	ファンドの日々の純資産総額に年1.2312%（税抜：年1.14%）を乗じて得た額とします。運用管理費用（信託報酬）の配分は下記の通りとします。なお、当該報酬は、毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">運用管理費用（信託報酬）</th> <th>年1.2312%（税抜：年1.14%）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">内訳</td> <td>（委託会社）</td> <td>年0.5940%（税抜：年0.55%）</td> </tr> <tr> <td>（販売会社）</td> <td>年0.5940%（税抜：年0.55%）</td> </tr> <tr> <td>（受託会社）</td> <td>年0.0432%（税抜：年0.04%）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">投資対象とする外国投資信託証券の信託報酬等<sup>※1</sup></td> <td>年0.64%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">実質的な負担<sup>※2</sup></td> <td>年1.8712%（税込）程度</td> </tr> </tbody> </table>		運用管理費用（信託報酬）		年1.2312%（税抜：年1.14%）	内訳	（委託会社）	年0.5940%（税抜：年0.55%）	（販売会社）	年0.5940%（税抜：年0.55%）	（受託会社）	年0.0432%（税抜：年0.04%）	投資対象とする外国投資信託証券の信託報酬等 <sup>※1</sup>		年0.64%	実質的な負担 <sup>※2</sup>		年1.8712%（税込）程度
	運用管理費用（信託報酬）		年1.2312%（税抜：年1.14%）															
	内訳	（委託会社）	年0.5940%（税抜：年0.55%）															
（販売会社）		年0.5940%（税抜：年0.55%）																
（受託会社）		年0.0432%（税抜：年0.04%）																
投資対象とする外国投資信託証券の信託報酬等 <sup>※1</sup>		年0.64%																
実質的な負担 <sup>※2</sup>		年1.8712%（税込）程度																
<p>※1 本ファンドが投資対象とする投資信託証券のうち信託報酬が最大のもの（年率0.64%）を表示しております。</p> <p>※2 本ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を加味した、投資者の皆様が実質的に負担する信託報酬になります。</p>																		
その他の費用及び手数料	ファンドの監査費用、有価証券売買時にかかる売買委託手数料、信託事務の処理等に要する諸費用、開示書類等の作成費用等（有価証券届出書、目論見書、有価証券報告書、運用報告書等の作成・印刷費用等）が言明から差引かれます。なお、これらの費用は、監査費用を除き、運用状況などにより変動するものであり、事前に利率、上限額などを示すことができません。																	

※ 当該費用及び手数料等の合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

### <委託会社>

SBIアセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第311号  
 加入協会 / 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。